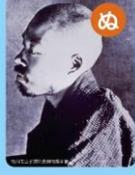


音	絵札	読み札	ポイント	解説
な		中の川 子規の歌碑がある 旧邸跡	子規旧邸跡	小説では、中ノ川は川幅が2mあり、水が飲めるほどに美しく、子規の正岡屋敷は南側の生垣をこの流れに映していたと記されています。現在、中の川通りの中央の緑地帯には、子規が2歳から17歳で上京するまで過ごした住居跡碑があり、そばには子規の歌碑も立っています。
に		日本と ロシアの 友好架け橋	ロシア兵墓地	日露戦争時、日本で初めて松山にロシア兵捕虜収容所がつくられました。多い時は4,000人を超える捕虜を収容しましたが、彼らは比較的自由的な生活が許され、市民との交流も多くありました。現在は地域住民や中学生による清掃活動が行われています。
ぬ		抜きんでた「ことば」の力 正岡子規	正岡子規のエピソード	俳句や随筆、評論など様々な分野で作品を残した正岡子規は、明治時代を代表する文学者の一人です。34歳の若さで他界しますが、後の文学の発展に大きな足跡を残しています。
ね		寝床でも 俳句を作る 正岡子規	正岡子規のエピソード	正岡子規は病気を患い34歳で亡くなりましたが、その直前まで俳句や短歌を作り続けました。確認されている限りでは、俳句は約25,000句、短歌は約2,500首作っています。
の		のぼさんが 生まれた場所だよ 花園町	子規誕生地跡	慶応3年、子規は正岡常尚の次男としてこの地に生まれました。母・八重は、子規の赤ん坊の時のことを、丸い丸い顔で鼻が低い低い妙な顔と話していたそうです。花園町通りのリニューアルに伴い、ここには俳句ポストが設置されました。